

自然を守る税

平安女学院中学校3年 杉浦 希歩

日本は山と海という大自然がたくさん存在している国です。私は先日、母の実家へ帰省した時に家族でハイキングに行きました。都会の空気とは違い、涼しくて日頃の疲れをリフレッシュすることが出来ました。また、景色がとても美しく、山だからこそ見られる植物たちにも出会うことが出来ました。美しい景色の中で、ふと「山や海の自然を管理する費用は何から出ているのだろう？」と疑問に思い、調べてみると税金が関係していることが分かりました。

まず自然環境に関する税として、「環境税」があることを知りました。環境税は、地球温暖化に効果があるとされ、欧州を中心に広まっている税です。日本では、地球温暖化のための税として「炭素税」が出来ました。その他にも、山を守るための「森林環境税」があります。その税の中で、各地の森林を整備する「森林環境譲与税」があり、それが使われて守られています。整備には国土の保全、水源の涵養、土砂崩れ防止などのために行われていると知りました。また私が住んでいる京都府でも、「豊かな森を育てる府民税」があると知って、驚きました。取り組みとして、整備や保全はもちろん、資源の循環利用や森林の大切さを知り、理解してもらうための活動をしていると知りました。楽しそうな活動の様子から私も、「参加してみたいな」と興味を持ちました。

色々調べた中で、私が一番衝撃を受けたのは、海に関する税金がないことです。山に関する税は多いとは言えませんがあります。ですが、海に関する税は一切ありませんでした。日本は四方を海に囲われており、日本にとっても山と共に大切な存在です。私は山と同様、海にも税を設けるべきだと思います。

そこで、私が提案するのは「海洋保護税」です。最近数は減ってきていますが、まだスーパーの肉・魚のトレイなどで、プラスチックは多く使われています。プラスチックをエサだと思い、飲み込むことで死んでしまっている海の生き物もいます。ひどくなれば、プラスチックを飲み込んでしまった魚を食べることで、人間が病気にかかることも出てくると思います。また、海岸に落ちているゴミをボランティアとして、捨ててくださっている方がおられます。そのようなボランティア活動のおかげで、海岸はきれいに保たれているのです。しかし、もうその方たちに頼るだけでなく、みんなで協力し、きれいにすることが大切だと思います。海をいつまでも美しく、全ての生き物にとって安全な場所にするために海洋保護税が必要だと考えました。

私は今まで、環境税について知りませんでした。今回、初めて環境税や森林環境税が国民の生活を支えてくれたと知り、感謝しかないなと思いました。これからは、税についてしっかりと学び、社会と自然に貢献できる大人になりたいです。